



平成 22 年 11 月 4 日

各 位

会 社 名 株式会社免疫生物研究所  
(コード番号: 4570)  
本店所在地 群馬県藤岡市 中字東田 1091-1  
代 表 者 代表取締役社長 清藤 勉  
問 合 せ 先 取締役経営企画室長 木下 憲明  
電 話 番 号 0274-22-2889 (代表)  
U R L <http://www.ibl-japan.co.jp>

## 遺伝子組換えカイコの実用飼育に関するお知らせ

当社は、群馬県蚕糸技術センターと平成 21 年 6 月から遺伝子組換えカイコの共同研究を開始し、抗体等の有用タンパク質を効率的に産生する遺伝子組換えカイコ 2 系統を開発いたしました。この研究成果を踏まえて、弊社ではまず試薬の原料である抗体の生産を進めるため、遺伝子組換えカイコの実用飼育を「前橋遺伝子組換えカイコ飼育組合」(JA 前橋市の養蚕農家 6 戸で組織)に委託することとなりましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 飼育時期

平成 22 年 11 月 16 日～12 月 10 日

(有用タンパク質を含む繭の納品は、12 月 21 日頃を予定しております。)

#### 飼育場所

群馬県蚕糸技術センター内蚕種保護室・壮蚕研究蚕室

(「カルタヘナ法」※産業利用第二種使用等許可施設)

#### 飼育系統

2 系統 (1 系統 3,000 頭、計 6,000 頭)

実用化推進は、以下のメンバーで構成する「M&I 新需要創造協議会」を設立(平成 22 年 11 月 4 日)し、カイコを利用した新たな産業創出を推進いたします。

前橋遺伝子組換えカイコ飼育組合 組合長 糸井 文雄

株式会社免疫生物研究所 代表取締役社長 清藤 勉

前橋市農業協同組合 組合長 前原 良男

#### <アドバイザー>

- ・(独) 農業生物資源研究所遺伝子組換え研究センター長 町井 博明
- ・群馬県蚕糸技術センター所長 町田 順一

なお、群馬県は、国の遺伝子組換えカイコ研究に参加し、実用化に必要な一連の蚕糸関連資源 (①全国の 4 割を占める養蚕農家、②人工飼料製造施設、③稚蚕共同飼育所、④蚕糸試験研究機関、⑤製糸工場) が揃う全国唯一の県であり、この優位性を活かして、遺伝子組換えカイコによる新たな産業創出や蚕糸業の再興を目指しています。

## 【用語説明】

※「遺伝子組換えカイコ」とは

平成12年、(独)農業生物資源研究所が他の生物の遺伝子を組み込んだカイコの作出に世界で初めて成功しました。この遺伝子組換えカイコ技術は、日本における新たな産業の創出に大きな可能性を秘めています。

※「カルタヘナ法」とは

カルタヘナ法の正式名称は、「遺伝子組換え生物等の仕様等の規制による生物の多様性の確保に関する法律」で、遺伝子組換え生物の安全性確保を図るための法律です。

実験室など外界と隔離され、拡散防止措置が施された施設内で利用する「第二種使用等」と、屋外など外界と隔離しないところで利用する「第一種使用等」があります。

以上